

通所介護等のクラスター感染回避のための 活動の提案について（第3版）

令和2年3月19日

株式会社やさしい手

代表取締役社長 香取 幹

k.kakatori.y@sashiite.com

通所介護等における蔓延を回避するために

- 通所介護、通所リハビリテーション等を舞台とした、新型コロナウイルス感染において「利用者ー利用者間」感染を中心とした、クラスター感染（小規模集団感染）の事例が増加しております。
- 高齢者介護分野では、高齢者施設よりも、在宅かつ通所サービスを有するサービスにおいて、クラスター感染が増加しております。
- 国、都道府県、介護事業者団体、介護事業者が一丸となって、通所介護等事業所における、クラスター感染を最小に食い止める必要があります。
- 弊社の少ない事例をもって、分析するには困難な分野もあるとは考えます。全国的な蔓延を回避し、利用者に安心して利用いただくためにも、ご提案をさせていただきたくおもいます。
- 経験が不足しており、拙速な提案であります。ご意見をいただければ幸甚でございます。

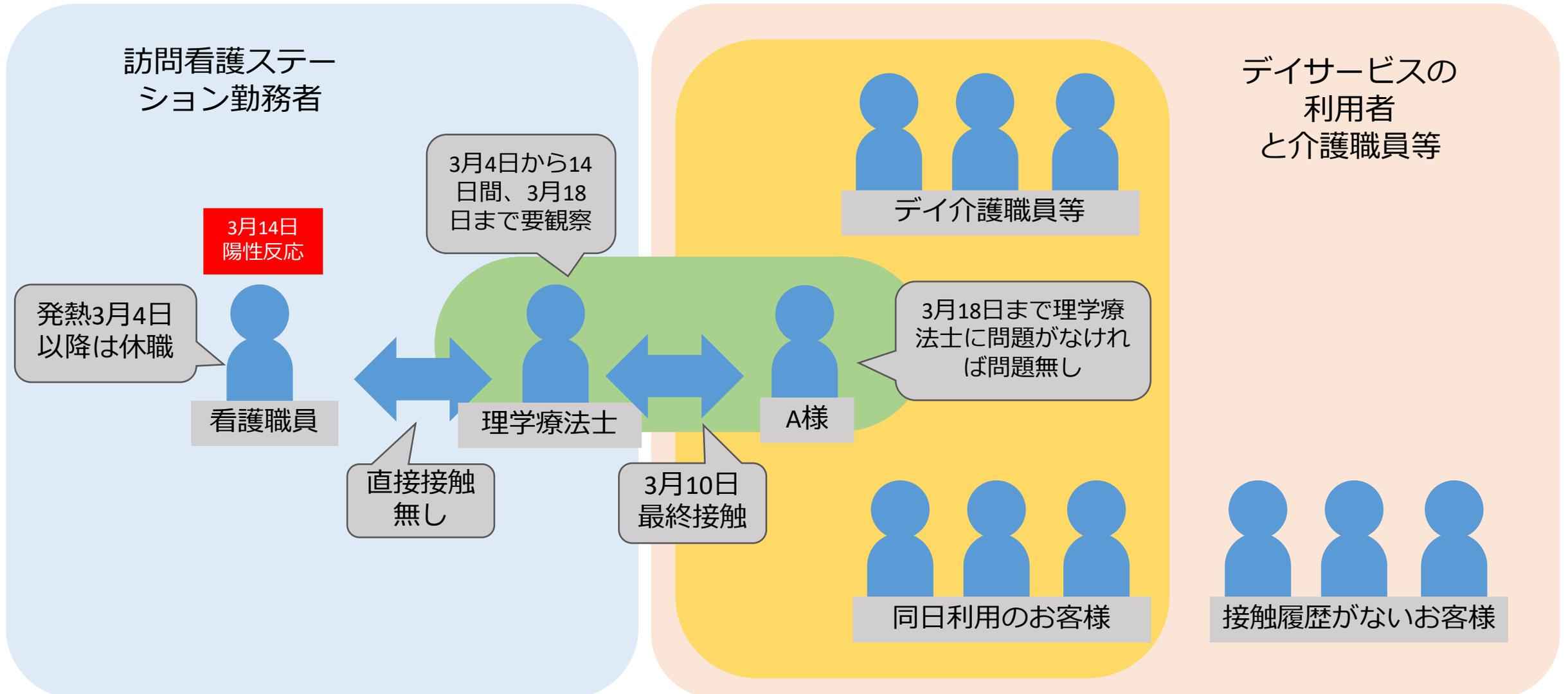
株式会社 やさしい手 代表取締役社長 香取 幹

通所介護等においてクラスター感染を抑えるための活動の事例

新型コロナウイルス感染可能性の接触経路を分析して対応する。

訪問看護ステーション職員と利用者の接触の関連についての説明図

今後の方針：接触経路者の観察を行います。3月18日水曜日までなにも発生ない場合は、感染可能性が消滅したものと判断します。標準予防策を徹底して、通常サービスを提供をいたします。



【発生事案の概要】

この度、大阪府内で他社法人様が運営する訪問看護事業所にて就労する理学療法士が、新型コロナウイルスに感染した事例が発生いたしました。弊社の運営するデイサービスに、該当の訪問看護ステーションで就労しており、感染された理学療法士の同僚にあたる非感染者の理学療法士による、自宅でのリハビリテーションを受けている利用者様（以下、「該当利用者」と表記します。）がおり、クラスター感染リスクを最小限に留めるため、3月16日（月）から以下に記載の方針を取っております。

※前ページ資料「他社訪問看護ステーション職員と利用者の接触の関連についての説明図」に本事案の全体像を図示しております。

【事案に対する対応方針】

(1) 該当利用者への対応方針

3月18日（水）までの通所サービスはお休みいただく。ご家族から「デイサービスを休むとなると、一時的に自宅に引きこもることになり、社会や他者とのコミュニケーションが希薄になるため、通所介護事業所職員による訪問サービスを利用し、体調の確認や精神的なフォローを中心にお願いしたい。」と要望を受け、3月16日、3月18日の計2日間（予定）を訪問によるサービスに切り替えて提供する。

※3月18日（水）までの対応とした根拠は、訪問看護ステーションの感染者の発熱日が3月4日（水）であり、この日から起算して2週間後（3月18日）に訪問看護ステーションの非感染者の担当理学療法士の体調を確認し、体調に問題が無ければ3月19日以降にサービス再開することが可能であると考えたため。

(2) 該当利用者本人以外の利用者への対応方針

まず該当利用者とその他利用者の非接触区分、接触可能性区分を分けて、接触可能性のある利用者には、該当利用者と同日にサービスを利用された事実を明確に説明したうえで、該当利用者への対応方針並びに、開示した情報をもとにご要望があれば個別に対応する方針であることを文書を以って通知した。

(3) 拠点に勤める職員への対応方針

上記（1）、（2）における対応方針を各職員にも展開し理解と協力を求め、拠点に勤める職員においても標準感染予防策の徹底や各自の体調管理と報告の遂行について指示を出した。

また該当利用者への自宅訪問にあたっては、強制するものではなく介護職員自身の意思を尊重するものとしている。

【上記対応方針に対する関係者の反応】

（１）該当利用者の反応

▶該当利用者家族（娘）より

通所サービスなどの集団で生活を共にする環境に母（該当利用者）を預けて良いか心配していたので、対応について感謝している。また通所介護事業所による訪問サービスに切り替えられることは、母の在宅生活を守る観点でも助かる。

（２）該当利用者以外の利用者の反応

▶複数家族からのいくつかの回答

- ・今はどこにいても感染のリスクはあるわけだから、むしろ通所して体調を見ていただけた方が安心であると考えている。
- ・予防の観点から、広く情報を開示してくださったことに感謝する。
- ・集団で一定時間過ごすことが心配なので、感染リスクを鑑み念のため、通所利用は休むこととする。
- ・家族で話し合ってから方針・意向を出したいので、返答に時間がほしい 等。

（３）拠点に勤める職員の反応

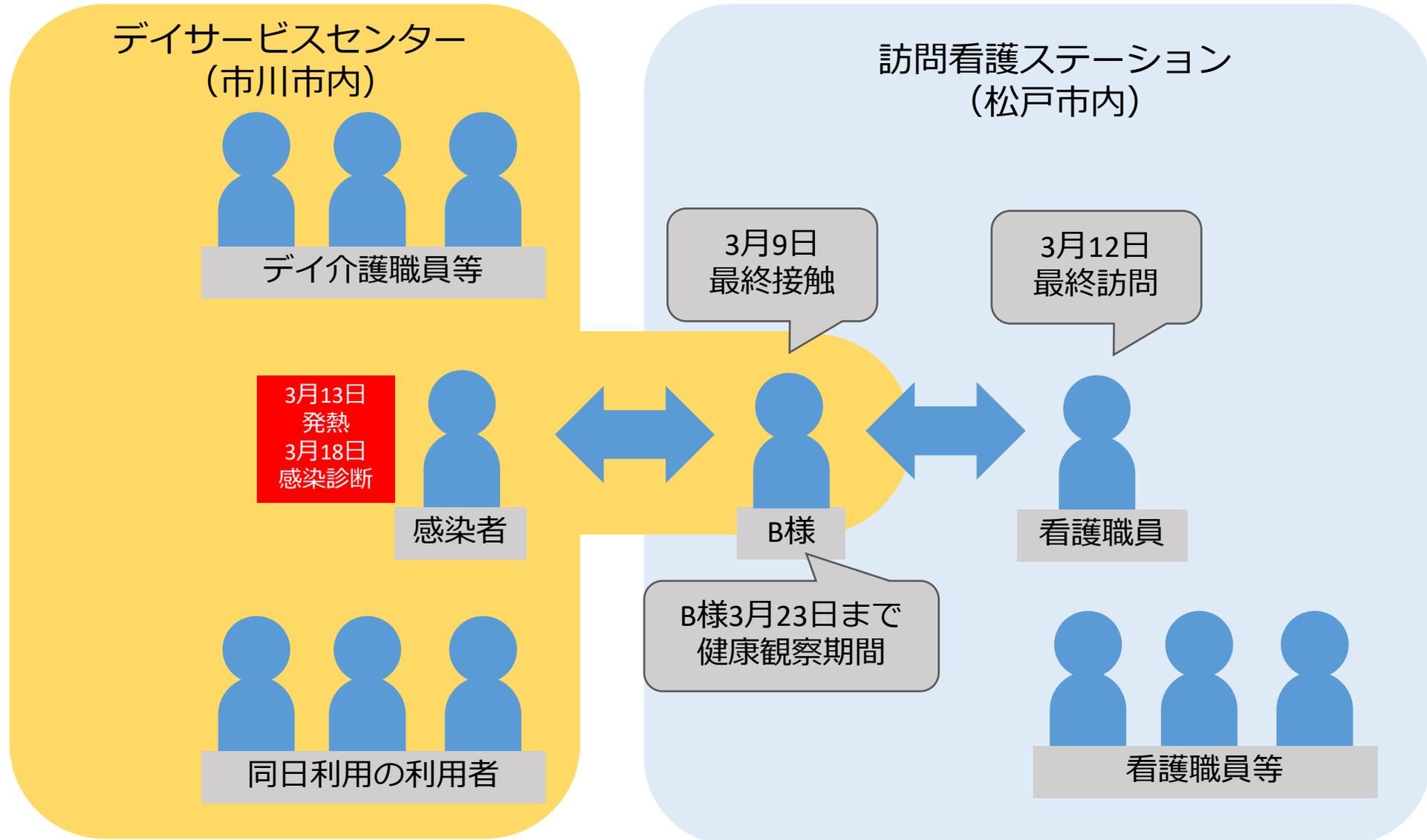
負担は多少あるものの、全体の理解と協力を取りつけられており、訪問サービスへの切り替えや、資材の確保、ケアマネジャーなどとの多職種連携について円滑に実施できている。

通所介護等においてクラスター感染と接触した利用者について保健所と連携して対応している事例

新型コロナウイルス感染可能性の接触経路を分析して対応する。

感染者と利用者の接触の関連についての説明図

今後の方針：利用者の観察を行います。3月23日月曜日までなにも発生ない場合は、感染可能性が消滅したものと判断します。標準予防策を徹底して、通常サービスを提供いたします。



【発生事案の概要】

市川市内のデイサービスセンターにおいて、感染診断された利用者があり、感染利用者との同日サービス利用により接触したと考えられる、「健康観察者」の訪問看護利用者（以下、「対象利用者」と表記します。）へのサービス提供への検討いたしました。

看護管理者を中心として、担当する看護師でサービス提供について協議しています。（3月18日時点）があり、クラスター感染リスクを最小限に留めるため、3月19日金曜日から以下に記載の方針を取っております。

※前ページ資料「感染者と利用者の接触の関連についての説明図」に本事案の全体像を図示しております。

【対象利用者が感染者と接触した経緯】

B様、対象利用者は男性で84歳 要介護2、膀胱がん手術にてストーマ造設、ウロストミー管理のため週1回訪問看護を利用

その他 週3回 市川市内のデイサービスセンター利用、そこでコロナウイルス感染者と接触した。
利用定員 通常型40名、認知型12名、複数の特別養護老人ホーム経営する社会福祉法人による大規模型なデイサービスセンターで発生している。

コロナウイルスに感染した利用者は、3月9日まで、そのデイサービスセンターに通っていた。

3月13日に発熱し、3月18日コロナウイルス感染症が発覚した。

デイサービスセンターでは、対象利用者は、3月9日コロナウイルス感染者と最終接触している。対象利用者は、「健康観察対象者」となった。

デイサービスセンターは、3月31日まで閉鎖となっている。

地域関連期間との協議

弊社看護管理者が、ケアマネジャーと相談した。

対象利用者については、ウロストミーの自己管理ができること、ご家族の協力が期待できると判断し、職員が感染した時のリスクを回避するためにも、当面訪問を控えさせていただく可能性があることも、了解いただいた状況。

対象利用者に接触した、看護師の今後の対応について松戸市保健センター 感染担当者に相談した。

保健センターの見解としては下記の状況

「健康観察者の接触者にあたるので行動制限はない。ただし、国からの指針が出ているわけではないのではっきりとこうしてほしいとは言えません、3月23日に健康観察期間が終了するため、症状発現がなければ24日以降訪問再開して差し支えないでしょう。」

弊社看護師の接触について

デイサービスセンターに通っている対象利用者が、コロナウイルス感染が確認される前の3月12日に、定期の訪問看護を弊社の看護師が訪問していた。

3月18日現在、対象利用者には症状の発現はない。

今後の対応について（3月19日現在、協議確認中）

■ 対象利用者に対する今後のサービスについて

（1）訪問看護のサービス提供

健康観察期間14日間（3月23日まで）は、対応可能な看護師が不足していることを原因として、サービス提供ができない。（家族等によるサポート体制が確保されていることが前提として看護師内で協議）

（2）本人・家族の要望の確認

本人・家族より、可能な限りサービスに入ってもらいたくないかとの要望があった場合には、訪問できる看護師に訪問していただく。

※予防衣等を着用するなど、予防策を十分に講じた中で、可能な限りサービス提供を行う。

■ 感染診断以前に対象利用者の訪問看護を担当した看護師の今後の出勤について

（1）毎朝の検温は、これまで通り行う。

（2）出勤も通常通りとする。

（3）発熱、体調不良の訴えがある場合には、お休みいただく。

発生事例を踏まえたクラスター感染回避のための 対策案

通所介護等のサービスそのもののレピュテーション低下を回避するために

【クラスター感染の頻発を食い止めるために必要と考えられる事項】

全国各地で、通所介護、通所リハビリ、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、療養通所（以下、通所介護等）において、クラスター感染と考えられる現象が発生しています。通所介護では、利用者-利用者間感染が発生しています。要介護の利用者と利用者家族より、通所介護等のサービスそのもののレピュテーション低下が考えられます。これを回避するために下記の行動が必要であると考えます。

（１）医療との連携

各地域介護事業者団体等を通じて、保健所や病院、地域の医師会等と連携を図って対応することについて確認をします。

介護事業者は、個別の症状等観察により、感染が疑われるときに、迅速に医療連携ができるようにあらかじめ連絡経路を確保します。

（２）感染症状の早期発見、早期の判断と対応

利用者体温把握、呼吸器症状の定常的把握、早期の発見と判断と対応

（３）感染事実の早期の開示と地域事業者連携の確保

地域の医療・介護事業者とくに居宅介護支援からの接触情報の早期開示・早期提供に関する事業者間の取り決めを行います。そして、利用者説明同意に基づいた感染者、濃厚接触者対応を行う必要があります。

【通所介護、通所リハビリ等における、クラスター感染回避のための対応策】

（４）利用者の非接触区分、接触区分の明確化

利用者の非接触区分と接触区分を明確にして、サービスを提供します。接触区分として、（あ）感染者、（い）濃厚接触者、（う）感染可能性者と接触した可能性のある者、（お）濃厚接触可能性者と接触した可能性のある者、（か）非接触者と区分し、利用者それぞれの立場と状況を明確に説明し、それぞれの不安を取り除きます。そのうえで、必要に応じて訪問型サービス等を提供します。論理的に明確に、感染可能性を説明することで、不安を解消し、信頼を得て、利用者、利用者家族との関係を強めることが有効と考えます。個別の利用者ごとの、接触経路に関する詳細な説明責任の履行により、利用者が比較的安定的に利用をされます。

（５）標準予防策の徹底

各事業者が、標準予防策の徹底をします。そのためには、全国の通所介護等事業に従事する、すべての職員に向けて、全事業者が協力して、標準予防策の周知と徹底をする努力を行う必要があります。各介護事業者協会等が標準予防策に関する動画配信などを行うことが考えられます。政府広報、公共広告機構の広告などにより、医療者、介護者、利用者に向けた、標準予防策についての理解を高めることを要請する必要があります。

（６）通所介護等への感染予防物品の優先的支給について

標準予防策のためには、感染予防物品の確保が大切です。国、都道府県において、通所介護等のクラスター感染の回避のための活動同期を行い、マスク等感染予防物品の支給を優先的に受けることが考えられます。

ご参考資料 通所介護等のクラスター感染に関連した報道

感染に関する、通所介護、通所リハビリテーションの評価

[社説] 介護現場の感染防止を全力で 2020/3/14 19:00768文字 [有料会員限定]

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO56809410U0A310C2SHF000/>

新型コロナウイルスの感染拡大で大きな影響を受けるのが、高齢者介護の現場だ。高齢者は持病を持つ人も多く、重症化するリスクが高い。感染を防ぎつつ必要な介護サービスが維持できるよう、事業者も行政もあらゆる知恵を絞ってほしい。

感染が相次いだのは、名古屋市の通所型の施設だ。入所型と異なり、人の出入りが多いことが背景にある。小規模な感染者集団「クラスター」が形成され、市は感染者が出た施設を含め計126カ所に2週間の休業を要請した。

ただ、ひとり暮らしや老々介護などで、サービスが欠かせない人もいる。このため規模を縮小して続けている事業者もある。休業要請の実効性を高めるには、一人ひとりの状況に応じた代替サービスの確保が不可欠だ。

デイサービスの職員が自宅を訪問する、訪問介護に切り替える。利用者の希望に応じてどのような選択肢があるのか、事業者はあらかじめ想定しておくことが重要だ。自治体もしっかりバックアップしてほしい。

特別養護老人ホームなど入所型の施設では、いかに外部からのウイルス侵入を防ぐかがカギとなる。家族の面会制限やボランティアの受け入れ停止のほか、業者からの物品搬入時にも気を配りたい。ワクチンも治療薬もないだけに、細心の注意が必要だ。

現場では、消毒用のアルコールやマスクなどの不足も目立っている。政府、自治体には優先的な供給を求めたい。今後は介護職員が出勤できなくなるケースが増えるかもしれない。介護難民が出ないよう、政府は現場任せにせずリーダーシップをとってほしい。

新型コロナウイルスの封じ込めは、予断を許さない。高齢者の家族も、サービスの休止や縮小があった場合に備え、仕事との両立策などをあらかじめ考えておく必要がある。行政が感染の広がりについての情報を、できる限り明確に開示することも、家族や事業者が備えるうえで役立つはずだ。

名古屋にクラスター 封じ込め一進一退:新型コロナ:中日新聞(CHUNICHI Web)

2020年3月14日 紙面から

<https://www.chunichi.co.jp/article/feature/coronavirus/list/CK2020031402000209.html>

新型コロナウイルスの感染拡大で、愛知県内の感染者数は、北海道に次いで全国二番目の多さとなっている。特に二つのクラスター（患者集団）が確認されている名古屋市では死者数も多く、市はクラスター封じ込めに躍起となっているが、その対策では一進一退が続く。

市内の感染者は十二日現在で八十九人で、県内の死者は全て同市から。クラスターは、スポーツクラブと高齢者向け福祉施設を中心に発生している。

二月十四、十五日にハワイから帰国した夫婦で初めて感染が確認されたのが発端。市は感染ルートを明らかにしていないが、市内にある四つのスポーツクラブが、感染者の利用を自主的に公表。その後の二週間で感染者は二十六人以上に達した。

ここ数日、スポーツクラブそのものからの感染者の確認はなくなっており、名古屋市の浅井清文保健所長は「クラスターとしては収束に向かっている」と手応えを感じている。

厚生労働省の専門家会議は、一人の感染者が複数人に感染させた事例として、ライブハウスなどとともにスポーツジムを挙げているが、感染のメカニズムは専門家会議も示しておらず、再発の可能性も拭き切れない。

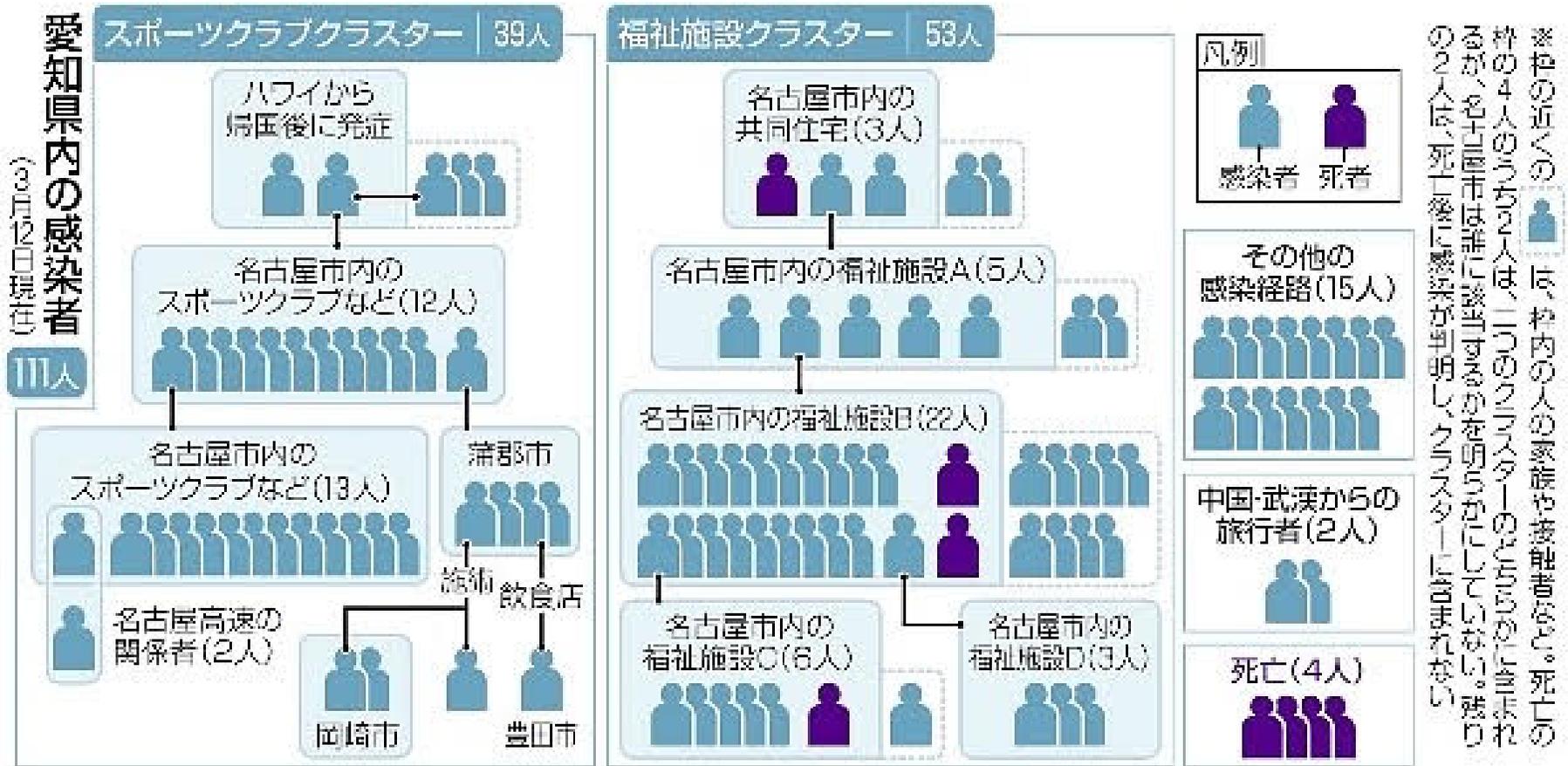
感染者の利用を公表したクラブの担当者は「いまだになぜ感染が広まったのかは分からない」と困惑。市内で別のフィットネスクラブを経営する男性によると、前の人に触れたトレーニング器具の取っ手などは、タオルで汗を拭き取ってから使うのが当たり前で「どちらかといえば衛生的」という。

もう一つのクラスター、デイサービスなどの福祉施設ルートでは、ほとんど歯止めがかかっていない。市内の共同住宅に入居する女性の感染が分かった二月二十九日以降、毎日のように感染者が確認され、二週間で五十三人にまで増えた。市は、市内の死者八人のうち、六人がこのクラスターに含まれることを明かしている。

高齢者施設のサービスに詳しい中部学院大の飯尾良英教授は「福祉施設では利用者を支えるために職員が体を触ることも多く、職員と利用者が濃厚接触せざるを得ない」と指摘する。耳の遠い利用者同士が接近して話すなど「感染者が一人いればウイルスは広まりやすい」と話す。

決定策はなく、名古屋市は感染が広がっているとして、同市緑区と南区のデイサービス施設に対し休業を要請している。

浅井保健所長は、福祉施設ルートについては「人の動きがかなり複雑で、（健康観察対象者の）人数もかなり多い」と、引き続き警戒している。



※枠の近くの人は、枠内の人の家族や接触者など。死亡の枠の4人のうち3人は、二つのクラスターのどちらかから生まれるが、名古屋市内は誰に感染するかを明らかにしていない。残りの2人は、死亡後に感染が判明し、クラスターに属されない。

デイサービス施設、クラスター相次ぐ 感染防止難しく

2020年3月11日 18:15

<https://r.nikkei.com/article/DGXMZO56669740R10C20A3CC1000>

通所型の介護施設で新型コロナウイルスの小規模な感染者集団「クラスター」が相次ぎ形成されている。愛知県では11日までに3施設に広がり、感染者数は45人に上った。高齢者は重症化するリスクが高いが独居や老々介護の利用者が行き場を失うとして休業に踏み切れない施設は対策に悩んでいる。

名古屋市では1日にデイサービス施設を利用していた80代女性の感染が分かり、3日には別の80代女性の陽性が判明した。この女性が利用していた別の施設にも感染が広がり、9日にはさらに別の施設で集団感染が明らかになった。

入所型と比べて人の出入りが多い通所型の施設の対策は難しい。名古屋市の施設関係者は「多くの利用者が自宅から通い、どんな経路でウイルスが入り込むか分からない」と明かす。兵庫県でも伊丹市のデイケア施設などで介護士や利用客の感染が確認されている。

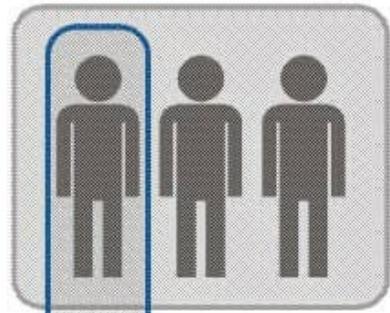
集団感染を防ぐため各自治体は感染が判明した施設に休業を要請している。名古屋市は感染者が出た施設を含め、市内の計126施設に7日から2週間の休業を要請した。対象のデイサービス利用者は約5800人に上っている。

だが、実際は多くの施設が利用者の受け入れを続けている。名古屋市によると、確認できた115施設のうち休業したのは60施設だった。受け入れている施設の管理者は「デイサービスは利用者にとって命綱だ。休業すれば受け皿がない」と説明する。一人暮らしで車いす生活の男性（72）は「自分では風呂も難しく、受け入れてくれて安心した」と話す。

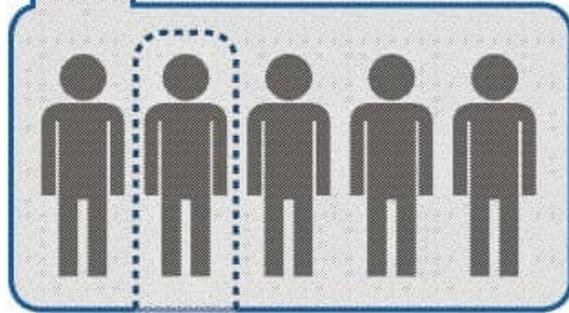
別の施設でも一人で入浴や食事ができない認知症の高齢者らに限り受け入れを続けている。名古屋市の担当者は「利用者の命を守るために休業に協力してほしいが、要請に強制力はなく判断は施設に委ねる」と話す。

淑徳大の結城康博教授（社会福祉学）は「感染拡大を防ぐために施設側は休業要請を受け入れるべきだが、国は高齢者が行き場を失わないようにデイサービス機能の代替策を早く講じなければならない」と指摘する。

名古屋市のデイサービスの感染状況 (10日現在)

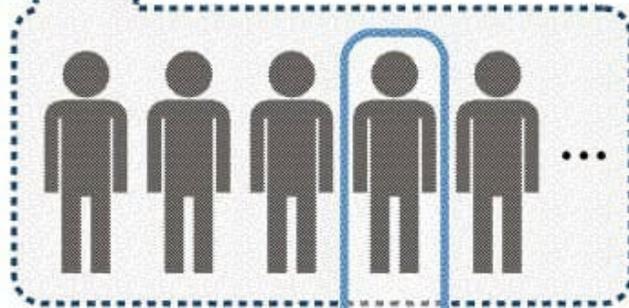


共同住宅で
女性3人感染



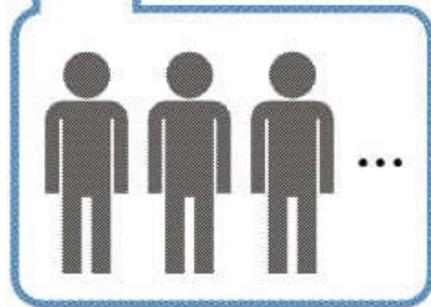
施設A

70~80代男女
感染



施設B

40~90代男女
20人感染



施設C

60~90代男女
感染

[https://www.nikkansports-com.cdn.ampproject.org/v/s/www.nikkansports.com/m/general/nikkan/news/amp/202003140000022.html?usqp=mq331AQRKAGYAbSGmsKSvv3WoQGwASA%3D&js_v=0.1#origin=https://search.yahoo.co.jp&paddingTop=56&cap=swipe](https://www.nikkansports.com.cdn.ampproject.org/v/s/www.nikkansports.com/m/general/nikkan/news/amp/202003140000022.html?usqp=mq331AQRKAGYAbSGmsKSvv3WoQGwASA%3D&js_v=0.1#origin=https://search.yahoo.co.jp&paddingTop=56&cap=swipe)

国内の新型コロナウイルス感染では、「クラスター」という小規模な集団感染が各地に出現し、大きな課題になっている。北海道に次いで感染者が多い愛知県では主に2つのクラスターが発生し、そこを中心に連鎖が続いている。

愛知県の感染者111人（死者8人、3月12日）時点の関係性をみると、主に<1>スポーツクラブ、<2>デイサービスの2集団と、<3>その他・経路不明に分けられる。

<1>スポーツクラブ集団は、ハワイから帰国した名古屋市の60代夫婦から始まった。妻（2月15日判明）が利用したスポーツクラブAでは利用者10人が感染。うち2月19日判明の50代女性が感染を知らず利用した施設でも8人感染。帰国夫婦に関係する感染はこの時点で知人、家族など含め39人に上る。

<2>デイサービス集団は、名古屋市内で入院した70代女性が2月29日に判明したことがきっかけ。同居の1人が利用するデイサービスAで利用者5人が感染。うち80代女性（3月3日判明）が別の施設を利用し、さらにほかの施設利用者や家族ら接触者に広がった。県は10日夜時点でデイサービス関係の感染者を45人と発表している。

全体的に高齢者が多いが、家族に広がるケースも目立つ。政府専門家会議は、クラスター発生条件を▼換気悪い密閉空間▼人の密集▼手を伸ばして届く距離の会話、の3つが重なるとするが、愛知の状況もその条件を反映している。

名古屋市では健康観察対象が1000人に上る。南東部デイサービス126カ所（約5800人利用）に2週間の休業を要請。受け入れ可能な病床は限界で他自治体に協力要請している。

◆クラスター 小規模な感染者の集団を指す。新型コロナウイルスは感染者の8割はほかに感染させないが、残りの1部が周囲の多くに感染させている。クラスターの連鎖が続くと爆発的に拡散するため、厚労省は対策を重視。発生自治体にクラスター対策班を派遣している。

【小規模集団感染＝クラスター可能性例】（関連含む）

▼北海道札幌市のライブバー＝16人

▼北海道北見市の展示会＝14人

▼千葉県市川市のスポーツクラブ＝5人

▼東京都の屋形船＝20人超

▼クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」＝697人

▼新潟県新潟市の卓球教室＝12人

▼大阪市のライブハウス4カ所＝15都府県83人

▼兵庫県神戸市のこども園＝7人

▼兵庫県伊丹市のデイケア施設＝12人

▼和歌山県湯浅町の病院＝11人

中国・武漢
からの観光客

40代男 1/26 40代男 1/28

1 ハワイから
帰国の夫婦

60代男 2/14 60代女 2/15

知人

60代男 2/16 60代男 2/17 60代男 2/18

スポーツ
クラブC
60代男
3/5

スポーツ
クラブA

50代女 2/19

高速道路

60代男 2/22 60代男 2/27

スポーツ
クラブB

20代女 2/21

60代男 2/22 70代男 2/26

40代女 2/25 60代女 2/27 60代男 2/28

50代男 2/26

60代男 2/26 60代女 3/4

70代男 2/23 60代女 3/10

70代女 2/23

70代女 2/25 70代男 3/6

70代女 2/25 70代女 3/3 80代男 3/3

40代女 3/5 50代男 3/4 30代男 3/4

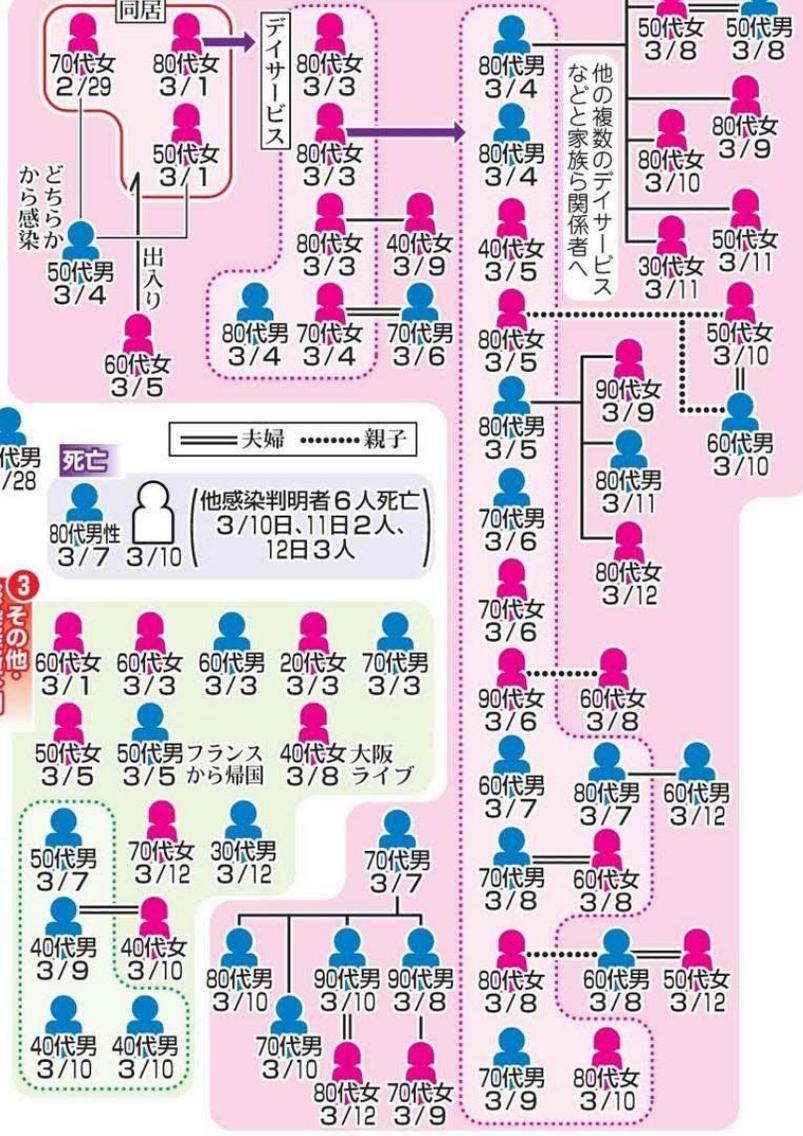
70代女 3/11

50代男 3/11

※愛知県、名古屋市の発表や取材などによる。日付は判明時

◆愛知県の主な感染状況◆ (3月12日、111人時点)

2 デイサービス関係



兵庫の死亡男性が感染判明 デイケア利用者 新型コロナ 関西 大阪 社会・暮らし2020/3/11 23:36

https://www.nikkei.com/article/DGXMZO56691480R10C20A3AC8000/?n_cid=DSREA001

兵庫県は11日、高熱で入院後に死亡した同県宝塚市の80代男性が、死亡後に採取した検体の検査で新型コロナウイルス感染が分かったと発表した。複数の感染者が確認された同県伊丹市のデイケア施設「グリーンアルス伊丹」の利用者だった。他の公表分も含めて県内の感染確認は計37人となった。

11日までにグリーンアルス伊丹と系列施設の関係者、家族で感染したのは10人に上っている。県はクラスター（感染者の集団）の可能性があるとみている。

また、神戸市などは、市内の認定こども園「聖ニコラス天使園」の保育士ら職員4人が新たに新型コロナウイルスに感染したと発表。兵庫県姫路市でも同日、職員や患者の感染が既に複数確認されている仁恵病院の入院患者2人の感染が分かった。

神戸市によると、同園では9日に50代女性園長の感染が明らかになっている。11日に判明したのは20代と60代の女性保育士や、30代の女性事務職員。他に職員数人と園児約30人に風邪のような症状があるといい、検査を進める方針。市保健福祉局はクラスターの可能性が高いとしている。

姫路市によると、仁恵病院の70代男性患者は熱や倦怠（けんたい）感があり、70代女性もせきの症状がある。同病院では既に女性看護師2人と60代男性患者が陽性になっている。

同県尼崎市によると、同市居住で介護職の40代女性も感染が判明。女性は、10日に感染が分かったグリーンアルス伊丹に勤める50代男性介護士と同居している。〔共同〕

クラスター相次ぎ発生 地域医療の停滞懸念 新型コロナ 2020/3/12 09:18神戸新聞NEXT

<https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/202003/sp/0013186762.shtml>

兵庫県内で11日、新型コロナウイルスに感染した初の死亡者が確認された。亡くなった男性は複数の感染者が出ている伊丹市の介護施設を利用しており、ほかにも3施設で新たな感染が判明。「クラスター」（感染者集団）が相次ぎ発生しているとみられ、井戸敏三知事は「封じ込めなければならない」と強調。基幹病院である北播磨総合医療センター（小野市）は外来や入院受け付けを中止する事態となり、地域医療の停滞が懸念される。

亡くなった80代の男性が利用していた伊丹市の介護施設「グリーンアルス伊丹」は、これまでに施設職員やデイケア利用者、その家族らを含め、計10人が感染。

この日、ほかに発表された感染者は5人。このうち4人が北播磨総合医療センター、神戸市の認定こども園、姫路市の「仁恵（じんけい）病院」とすでに感染が確認された施設に勤めていた。

井戸知事は「どうしてこの4カ所で一挙に出てきたのか分からない」と困惑しつつ、「少なくとも感染源が特定されているということは、その源をしっかりと抑えればこれ以上感染していく可能性がなくなる。クラスターらしき塊をしっかりと封じ込めて、対応を続けていく」と強調した。

北播磨総合医療センターでも同日夜、栗野孝次郎副院長らが会見。「今後さらに院内感染や感染が広がる可能性は否定できない」として患者の受け入れ中止を発表した。

10日に常勤医師1人が感染した際は「地域医療を支える役割がある」として、従来通りの診療を継続する方針を発表していたが、新たな感染者判明を受けて、「地域医療よりも院内感染の防止を優先した」と判断を一転。「院内の患者に感染を広げてしまいかねず、申し訳ない」と謝罪した。

同センターでは今後、厚生労働省の院内感染の専門家チームから指導を受けて対策を取るという。また、外来患者と患者搬送の受け入れなどは少なくとも12日から25日まで中止し、退院の延期なども行う。化学療法や放射線治療などが必要なケースは治療を受け付けるという。

地域の中心的存在である同センター。今後の対応については「地域の3病院と話し合いたい」と話すにとどめた。

兵庫「宝塚第一病院」で院内感染か 関係する感染者6人に
毎日新聞2020年3月15日 22時22分(最終更新 3月16日 12時40分)

<https://mainichi.jp/articles/20200315/k00/00m/040/153000c>

兵庫県と神戸市は15日、同県宝塚市の「宝塚第一病院」の入院患者2人と医師2人が新型コロナウイルスに感染していたと公表した。同病院では死亡した宝塚市の80代の男性からウイルスが検出され、この男性と同じ病室だった別の80代男性も14日に感染が判明。同病院に関係する感染者は計6人となった。県は「院内感染の可能性が高い」とみている。同病院は16日から外来診療を休止した。

県と神戸市によると、新たに感染が分かったのは宝塚第一病院に入院していた80代と90代の男性2人と、40代と50代の男性医師2人＝神戸市。入院していた2人は軽症と無症状で、死亡した男性と4人部屋で同室だった。

兵庫県内では15日に11人の感染が判明し、感染者は計78人になった。うち7人が重症という。
【春増翔太】

利用者2人が新型コロナ感染 神戸の整形外科対応追われる

<http://sun-tv.co.jp/suntvnews/news/2020/03/14/21729/>

3月13日、利用者2人が新型コロナウイルスに感染したと確認された神戸市の整形外科は、きょう14日から臨時休業し施設内を消毒するなど対応に追われています。

兵庫県内では、きのう新たに30代から80代の男女合わせて10人が新型コロナウイルスに感染しました。

このうち、神戸市東灘区にあるリハビリテーション施設「仁科整形外科」ではデイケアに通所する70代の女性と80代の男性が感染。

この施設にはデイケアにおよそ130人が登録していて1日当たりおよそ20人が利用していたということです。

これを受け、施設はきょう14日から今月24日まで臨時休業し濃厚接触者などを確認するということです。

このほか、利用者の女性と同居する40代の男性と70代の男性の感染も確認されていて、このうち40代の男性は集団感染が確認された大阪のライブハウスを訪れていたことが分かっています。

県内の新型コロナウイルスの感染者数はきのうの時点で56人にのぼっています。

新型コロナ 新たに50代福祉施設職員が感染（新潟県）3/16(月) 16:03配信TeNYテレビ新潟

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200316-00000312-teny-l15>

TeNYテレビ新潟

また1人、新型コロナウイルスへの感染が確認された。新潟市は16日、東区に住む50代の福祉施設職員の女性が、新たに感染したと発表した。新潟県内の感染者はこれで17人となった。

新たに感染が確認されたのは、新潟市内の福祉施設に勤める東区の50代女性だ。県内の感染者はこれで17人となった。

新潟市は14日、県内15例目となる南区の40代の会社員男性と、16例目となる東区の80代の無職男性の感染を発表している。

16日に感染が判明した女性は、16例目の80代男性の濃厚接触者で、男性が利用していたデイサービスの職員だ。

80代男性の濃厚接触者は、施設に14人いて、全員PCR検査を行ったが、陽性だったのは今回の50代の職員の女性だけだった。

16日時点で女性に熱などの症状はないというが、16日午後、市内の病院に入院する予定だ。

なお福祉施設は16日からサービスを休止している。

新潟市保健衛生部の野島晶子部長は「感染のリスクが高いような施設につきましては市の方からも感染が広がらないような対処を強く呼びかけしていますし、市民の皆さまには自分の身を守る行動を1人1人行って頂きたいと考えています」と話した。

また、新潟市は、市民病院に入院していた感染者1人が15日に退院したことも明らかにした。

県内の感染者の退院は初めてとなる。

新型コロナ対策で訪問型デイサービス実施 3/17(火) 19:43配信テレビ高知

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200317-00010000-kutvv-139>

テレビ高知

新型コロナウイルスの影響で、多くの人が集まるデイサービス施設へ通うことへの不安が広がる中、利用者が自宅でデイサービスを受けることができる取り組みが始まっています。

デイサービスを利用する男性が暮らす高知市内の住宅。そこにやってきたのはデイサービス施設の職員です。利用者の自宅でリハビリを行うためです。

新型コロナウイルスの影響で、人が集まるデイサービス施設に通うことへの不安が広がる中、厚生労働省は今月6日、利用者の自宅を訪問してサービスを行うことを認める通知を出しました。

これを受け、リハビリを専門とする高知市のデイサービス施設「アルコデイトレセンター」でも、施設での通常のサービスに加え、訪問型サービスを導入しました。

「こうやって私のために皆さん苦勞してくださって助かります。気の持ちようが違います。我が家ですしね、こっち（利用者）からしたら」（利用者 松井辰夫さん）

今回、施設では新型コロナウイルス対策として訪問型デイサービスを始めましたが、職員にとってはメリットもあるようです。

「ご自宅の中に入ってサービスをすることでその方の生活の環境を私達も十分理解して、コロナが終息した後に私共のデイサービスで（普段の）生活を踏まえたリハビリが出来るようになると考えている。せっかく国がいい制度を作ってくれているのでそれを（利用者の）皆さんに活用していただきたい」（福の種合同会社 木村徹社長）

施設では、今回の対応が新型コロナウイルス対策の特例措置であることに理解を求めつつ、利用者への積極的な活用を呼びかけていく方針です。

最終更新:3/17(火) 19:43

新型コロナウイルス 新潟市で保育園職員も2名感染 3/17(火) 10:01配信UX新潟テレビ21

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200317-00010000-niigatatv-v-l15>

16日新潟市で、新たに3人の新型コロナウイルスの感染が確認されました。感染者の保育園職員の同僚2人が含まれています。

新潟市によりますと、最初に感染が確認されたのは東区在住で福祉施設職員の女性（50代）です。14日に感染が判明した、80代の男性が施設をデイサービスで利用した時に、濃厚接触がありました。

さらに16日夜になって、新たに2人の感染が判明。ともに新潟市の山潟保育園の職員で、9日に感染が確認された女性職員の濃厚接触として検査していました。この影響で、山潟保育園は17日から登園が再開される予定でしたが、休園は19日まで延長されます。

最終更新:3/17(火) 10:01

UX新潟テレビ21

参考文献

日本感染症学会 症例報告 高齢者向けサービス施設より高齢者とその家族に感染が広がった COVID-19 肺炎の3症例 (2020年3月18日アクセス)

http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_casereport_200312_2.pdf

新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて (第4報) 事務連絡 令和2年3月6日 (2020年3月18日アクセス)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000605436.pdf>

新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて (第2報) 事務連絡 令和2年2月24日 (2020年3月18日アクセス)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000599390.pdf>

一般社団法人日本環境感染学会「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド (第2版)」の公開について (2020年3月18日アクセス)

http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=341

一般社団法人日本臨床微生物学会 新型コロナウイルス (2019-nCoV) 感染 (疑いを含む) 患者検体の取扱いについて -注意喚起- (2020年3月18日アクセス)

<http://www.jscm.org/m-info/coronavirus200210.pdf>

長崎大学病院 福祉・介護施設における新型コロナウイルス感染症の対策 (2020年3月18日アクセス)

<http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kouhou/topics/2020/3/3/index.html>

長崎大学病院 福祉・介護施設における新型コロナウイルス感染症の対策 (2020年3月18日アクセス)

<https://www.youtube.com/watch?v=4XL3Gp99az0>